

世の中で話題になっているニュース等について知り、考えるためのヒントを得られるような資料情報をご紹介します。

# フェイクニュース


## 最近の新聞記事から

「偽ニュース対策へ聴取、総務省、グーグルやメタ対象」(日本経済新聞 2022年3月29日 朝刊 5面)

「「コロナで生活不安」「情報源は動画サイト」 ワクチン誤情報 信じる一因」

(読売新聞 2022年4月23日 大阪朝刊 29面)

フェイクニュースとは「メディアによって流される虚偽の情報や報道」(出典『現代用語の基礎知識 2022』)です。2016年のアメリカ大統領選挙では SNS を通じてフェイクニュースが拡散し、投票に影響が出たと言われています。コロナ禍においても、様々なフェイクニュースが発生し混乱を招きました。こういった社会問題を契機に「フェイクニュース」という言葉に注目が集まっています。また、フェイクニュースと言われるものの中には、受け取る人の主観により虚偽と言い切れないものもあります。SNS など情報で氾濫する現代において、その真偽を見極めるための知識や判断力が必要とされています。

書名・記事名・サイト名	出版情報・サイト情報等	
人間はだまされる フェイクニュースを見分けるには	三浦準司著 理論社 2017 中央：J070/シ <span style="border: 1px solid black; border-radius: 5px; padding: 2px;">図書</span>	
「フェイクニュース」という言葉を使わず考えてみよう	EAVI <a href="https://eavi.eu/beyond-fake-news-10-types-misleading-info/">https://eavi.eu/beyond-fake-news-10-types-misleading-info/</a>	<span style="border: 1px solid black; border-radius: 5px; padding: 2px;">Web 情報</span>
ファクトチェック・イニシアティブ ホームページ	FIJ (ファクトチェック・イニシアティブ) <a href="https://fij.info/">https://fij.info/</a>	<span style="border: 1px solid black; border-radius: 5px; padding: 2px;">Web 情報</span>

<b>フェイクニュース</b> <b>with コロナ時代の情報環境と社会的対処</b>	山口真一他執筆 国際大学グローバル・コミュニケーション・センター(GLOCOM) 2021 <a href="https://www.glocom.ac.jp/activities/project/7119">https://www.glocom.ac.jp/activities/project/7119</a>	<div style="border: 1px solid black; border-radius: 5px; padding: 2px; display: inline-block;">Web 情報</div>
<p>日本におけるフェイクニュースの実態についてアンケート調査分析とインタビュー調査により明らかにしている。GLOCOM のホームページでは「新型コロナウイルス・ワクチン関連の疑義言説に関する調査研究報告書」など、フェイクニュースやリテラシー教育等に関する情報が多数紹介されている。</p>		
<b>プラットフォームサービスに関する研究会</b>	総務省 <a href="https://www.soumu.go.jp/main_sosiki/kenkyu/platform_service/index.html">https://www.soumu.go.jp/main_sosiki/kenkyu/platform_service/index.html</a>	<div style="border: 1px solid black; border-radius: 5px; padding: 2px; display: inline-block;">Web 情報</div>
<p>2018 年に発足した総務省によるプラットフォーム事業者の利用者情報の適切な取扱いの確保の在り方等について検討するための研究会。フェイクニュースや偽情報への対応も主要議題となっており、第 25、26、36 回ではフェイクニュースや偽情報等に関する議題が話し合われた。</p>		
<b>メディア不信 何が問われているのか</b>	林香里著 岩波書店 2017 中央：07014/12 <div style="border: 1px solid black; border-radius: 5px; padding: 2px; display: inline-block; margin-left: 10px;">図書</div>	
<p>フェイクニュースが生まれた背景には既存のメディアに対する情報の信頼度の低下があると言われている。メディアに求められる信頼性や市民に求められる情報を見抜く力について、独英米日の報道の比較研究を元に解説している。</p>		
<b>フェイクニュースに震撼する民主主義</b> <b>日米韓の国際比較研究</b>	清原聖子編著 大学教育出版 2019 中央：3148/62 <div style="border: 1px solid black; border-radius: 5px; padding: 2px; display: inline-block; margin-left: 10px;">図書</div>	
<p>国民が国の指導者や政党を選ぶ民主主義において、フェイクニュースによる誤情報には大きな影響力がある。日本、アメリカ、韓国の選挙を例にフェイクニュースが民主主義に及ぼす影響について説明する。また、政治家らの発言について誤りがないかを検証するファクトチェックについても紹介している。</p>		
<b>ポストトゥルース</b>	リー・マッキンタイア著 人文書院 2020 西部：14151/20 <div style="border: 1px solid black; border-radius: 5px; padding: 2px; display: inline-block; margin-left: 10px;">図書</div>	
<p>ポストトゥルースとは公共の意見を形成する際に、客観的な事実よりも感情や個人的な信念に訴える方が影響力をもつ状況を指す。ソーシャルメディアの台頭とフェイクニュースの問題やフェイクニュースとポストトゥルースとの関係などについて述べている。</p>		
<b>フェイクニュースと図書館の関わり</b> <b>：米国における動向</b>	『カレントアウェアネス』2019年12月号 (No. 342) p12-16 <a href="https://current.ndl.go.jp/ca1966">https://current.ndl.go.jp/ca1966</a> <div style="display: inline-block; margin-left: 10px;"> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 5px; padding: 2px; display: inline-block;">Web 情報</div> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 5px; padding: 2px; display: inline-block; margin-left: 5px;">雑誌</div> </div>	
<p>図書館は信頼できる情報を入手できる場所として認知されている。「フェイクニュース」が社会問題となった 2016 年のアメリカ大統領選挙時に米国図書館界でとられた対応を例に、フェイクニュースの問題における図書館の役割や情報リテラシー教育などについて考察している。記事中で紹介されている IFLA (国際図書館連盟) が作成したチェックリスト「偽ニュースを見極めるには」の日本語版は「カレントアウェアネスポータル」(<a href="https://current.ndl.go.jp/node/34538">https://current.ndl.go.jp/node/34538</a>) で確認できる。</p>		